

# 超速硬モルタル ジェット®モルタル

## ◎ 特 長

### 簡単製造

水を加えて練り混ぜるだけで、現場で簡単に超速硬モルタルが製造できます。

### 高品質

3時間で20N/mm<sup>2</sup>前後の強度が得られ、長期にわたり安定した強度増進を示します。

### オールシーズン

夏場から冬場まで安定した効果が得られます。

### 作業時間調整

作業時間は、ジェットセッターH(専用遅延剤)の添加量を変えるだけで調節できます。

## ◎ 包装形態



● ジェットモルタル 20kg/袋



● ジェットセッターH 30g/袋  
(専用遅延剤)

## ◎ 用 途

- コンクリート断面修復材
- タイル・ブロック等の下地処理(不陸調整)
- 道路標識・ガードフェンス・ガードレール基礎
- 配管・配線工事埋め戻し用
- 砂利を加えることにより超速硬コンクリートとなります。



## ◎ 性 能

※数字は、実験室データ例です。

環境温度 (°C)	1袋当たりの 練り水量 (%)	ジェット セッターH (袋)	テーブル フロー値 (mm)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )			
				3時間	6時間	1日	7日
10	2.8	1/3	179	15	23	29	34
20		2/3	188	20	25	28	35
30		1	185	22	25	29	36

◎ 配 合

1袋当たり	ジェットモルタル (kg)	標準練り水量※1 (ℓ)	ジェットセッターH (専用遅延剤)	練り上り量 (ℓ)
	20	2.6~3.0	適宜※2	約10※3

※1 目標とするコンシステンシーを得るために、事前に標準練り水量の範囲で水量を確認して下さい。  
 ※2 ジェットセッターH(専用遅延剤)は練り水と混合し、表を参考に環境温度に応じた量を添加して下さい。  
 ※3 1m<sup>3</sup>当たりの使用量は、約100袋となります。

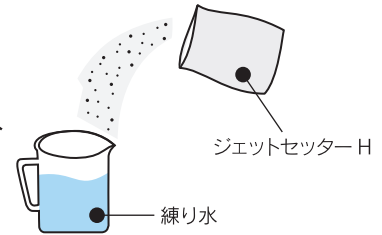
◎ 使用方法

ジェットモルタル1袋当たり、**2.6~3.0ℓ**の標準練り水量の範囲でご使用下さい。

使用時の注意

- 標準練り水を超える水量で練り混ぜた場合、材料分離や強度不良の原因となります。
- ジェットセッターH(専用遅延剤)は、練り水に所定量を加えてご使用ください。
- 練り混ぜ時間は、ミキサーの性能により異なります。ご注意願います。
- 養生は、打設後3時間以上行って下さい。また低温下では打設後、保温養生して下さい。
- アルミ製の攪拌羽根は異状膨張の原因となりますので、使用しないで下さい。

ジェットセッターH (専用遅延剤)の投入



● ジェットセッターHの添加例(ハンドリングタイム20min)

環境温度	10℃ ~ 20℃ ~ 30℃
使用量( /袋)	1/3      2/3      1

パン型ミキサを使用した練り混ぜ



ハンドミキサを使用した練り混ぜ



ジェットモルタル 取扱い上の注意

- 目や皮膚への接触を避けるため、適切な保護具(手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用し、換気に注意して下さい。
- 取扱い後は、顔、手、口等を水洗いして下さい。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。
- 使用前に当製品の安全データシート(SDS)をお読み下さい。

「ジェット」は、太平洋セメント(株)、住友大阪セメント(株)のセメント系材料の登録商標です。

